



第6号

トミー協働 つうしん

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp



暮れも多くの人でにぎわった道の駅富楽里

南房総市富山支所内富山協働推進室

新年明けましておめでとうございます
 今年卯年です。卯年は寅年に勢いよく伸び始めた芽が若葉になり、成長していくよい年だそうなんです。
 富山地区の皆さんにとってもこの一年がよい年でありましますように、お祈り申し上げます。

富山の各地区でボランティアをはじめとして、目的をもっていろいろな活動がなされていますが、その活動を通して、人と人の縁ができて、又、絆ができて、笑顔あふれる安心して住める富山の地域として、行政と市民の協働の基で、ワクワクと楽しく「住んで良かった」「来て良かった又来たい」と言えるような地域づくりを進めていけたら良いと考えております。



平久里下在住 前田正昭さん

私の考える地域づくり⑥

地域の話題

二部のすいせん 遊歩道がそろそろ見頃です



二部のすいせん遊歩道は、地元の方が管理されており、毎年きれいな花を咲かせます。今年も1月初旬から下旬まで楽しむことができそうです。

日頃利用している 富山公民館を大掃除

12/13



日頃、教室やサークルなどで利用している公民館を、自分たちの手で一年のほこりを落とそうと、富山文化協会(高橋正高会長)やサークルの団体五十七名が、ホールや各部屋、施設周辺の木の伐採など暮れの大掃除を行いました。

この大掃除は、三年前から続けられていて、利用者の皆さんは日頃利用している部屋を中心に、掃除に伐採に汗を流しました。大変お疲れさまでした。



伐採した木は軽トラック数台分にもなり、自前のトラックでクリーンセンターへ運びました。



観光協会主催の岩井駅ふせ姫公園のイルミネーション。十一月いっぱい午後五時から午後十一時まで点灯しています。写真は駅構内から撮影

わがふるさと富山⑥



山田 山神社の狛犬



平久里中 天神社の狛犬



久枝 天満神社の狛犬

神社に詣でると必ず目につく狛犬。犬といってもその源流は、古代エジプトやメソポタミアでの神域を守るライオンとされています。日本には、中国、唐時代の獅子が、仏教とともに朝鮮半島を経て伝わったものとされています。富山には、山田の山神社に天保十(1839)年、

平久里中の天神社に弘化二(1845)年、久枝の天神社に安政四(1857)年のいずれも江戸時代の古い石造の狛犬が残っています。素材は石造が多いですが、他の地域には木製や金属製・陶製があり、それぞれの特徴が出ています。

金製狛犬の年々
 谷の陶から
 金谷の4年
 津社焼政
 市前安が彫
 津社安が彫
 富谷(備安)文
 谷(備安)文

◆伏姫と八房のたわ言◆

正月には、大勢の人が神社やお寺に初詣でに出かけたことと思います。私も毎年元旦には、近くの神社にお参りをした後、あちこちに初詣での梯子をして楽しんでいます。

富山の地域づくりを考える会は、昨年、協議会準備委員会に移行し協議会設立に向けていよいよ大詰めに入っています。今が一番大切な時ですので、今後とも会員の皆さんと同じ目標に向かって、一緒に歩んでいきます。

三橋地域づくり支援員

狛犬ものがたり

(ふるさと富山参照)

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動を行っています。今月は、南房総市観光協会岩井支部をご紹介します。

南房総市観光協会岩井支部 (井野宏一支部長)
 会員数86名：構成は旅館・民宿・網元・海の家経営者などで組織され、主催の行事は、毎年5月の海岸開きに始まり7月下旬から8月中旬の観光地引網、スイカ割り大会、花火大会などがあります。また、体験型観光を通年行なっています。昨年度は近畿や北海道などから中学の修学旅行生約9千7百人を受け入れて、海辺の自然観察や釣り、農業や漁業体験など、遊びの要素を取り入れ自然を学び、環境問題にも目をむけた行事を行なっています。

ご夫婦で卯年 今年そろって96歳になります 荒川在住の池田賢吾さんとトヨさん夫妻



池田賢吾さんとトヨさんご夫婦そろってお元気です

ご夫婦の長寿の秘訣は、賢吾さんは酒は毎日飲まないこと必ず休肝日をとること。トヨさんは食事は好き嫌いがないことだそう。お二人ともとにかくお元気です。

賢吾さんは、富山町議会議員を務め、現在、伏姫炭化組合長、郷土を知る会会長、荒川元気クラブ会長など様々な肩書を持つており、ときには奥さんと車で遠出をするなど、九十五歳と思えないほどです。トヨさんは小田原の出身。若いころ二宮市のプロゴルフアー赤星宅に勤めていた時に、同じく専属運転手として勤めていた賢吾さんと昭和十五年に職場結婚。昭和二十一年、戦地から帰ってきて農林業に従事した賢吾さんを、現在まで支えてきました。

トヨさんは、「出かける時など、私はさっさと支度する方ですが、あの人はのんびりしているのです。それで、夫婦仲がうまくいっているのでは」とおっしゃっていました。

「存じますか、こんな活動」

なぜ今、「市民による地域づくり」が必要なのでしょう？

今現在は!

- 富山の資源がまだまだ活かしきれていない
- 地域の連帯感が薄れかけている
- 少子高齢化が進展している
- 地域の担い手がいらない
- 多様な市民ニーズに行政が対応できなくなる

富山を元気にしよう



そこで、これからは!!

富山の誇れるものを	富山のよさを見つけて活かしましょう
富山を元気に	このままでとさびれてしまう その前に、考えてみましょう
子供たちや高齢者の 安心・安全	みんなが笑顔ですごせる 地域づくりをしましょう
地域の課題を 解決へ	一人では無理でも、 みんなで考え、みんなで解決しましょう

地域づくりの必要性については、トミー協働つうしん創刊号で、「地域を活かすには市民交流の場づくりが必要と考え、地域の課題について自ら積極的に取り組む意識をもって、身近なところから地域づくりを進めて行きます」と述べられました。なぜ今、「市民による地域づくり」が必要なのでしょう。また、協働とはどういうことなのか、もう一度一緒に考えてみましょう。

(活発に意見が出された第2回目の準備委員会代表者会)



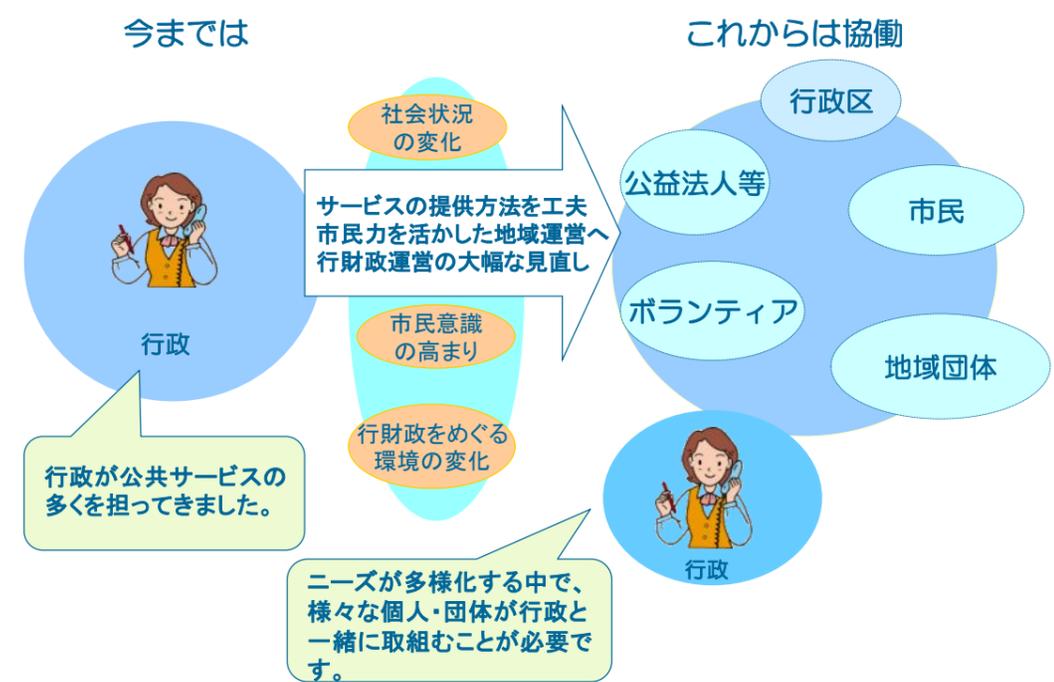
協議会設立に向けて 活発な意見が出される

富山地域づくり協議会準備委員会代表者会



「富山地域づくり協議会準備委員会」の第一・二回の代表者会が、昨年の十二月七日と十四日の両日、富山支所で開催されました。代表者会では「(仮称)富山地域づくり協議会」の設立を目的に、準備委員会の会議のルール・決め方、協議会の目標や名称・活動・規約などの協議・検討を進めています。

協働とは、行政と市民と一緒に取り組む手法です

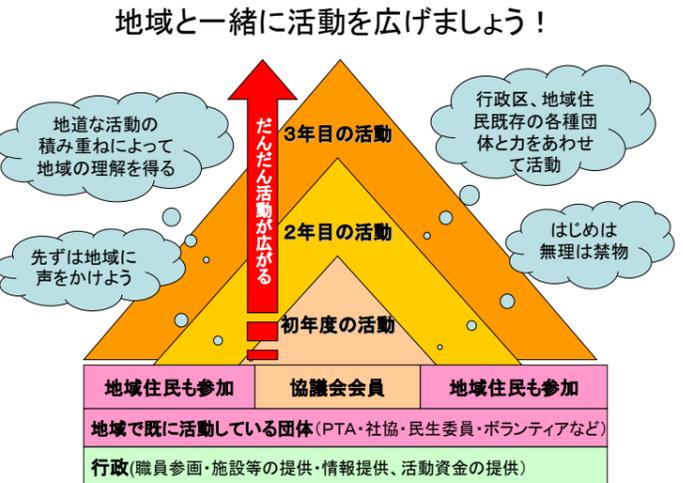


(仮称) 富山地域づくり協議会はゆたかで住みよい地域づくりを目指します

地域の課題を解決
地域住民と様々な団体が連携し、個人や1団体で解決出来なかった問題を、解決に導く役割があります。

地域の拠り所に
話し合いの場、みんなが集まる場、相談する場、地域情報が集まる場として、地域住民の拠り所になります。

地域の“きずな”を深める
地域づくり協議会は、地域のあらゆるモノ(人・団体・情報・地域資源など)を“つなぎ・結びつけ”地域づくりを進めていくところです。



地域資源の発見 資源活用の検討 地域おこしへ
地域資源の発掘 解決策の検討 自主的な活動

まずは、できる“こと”できる“ところ”から始めます!

上の図は、行政とともに地域で既に活動している団体と連携し、地域住民と一緒に活動し始めた地域づくり協議会の姿を表しています。この活動が2・3年後から将来に向かって広がっていくには、地域の皆さんの協力がが必要です。